



2024.7.19

郡山市立 日和田小学校 NEWS LETTER

文責 関 忠昭

Vol. 4

*** 7月 * (文月:「七夕」星に願いを…)**

今年は梅雨入りが遅れたこともあり、プールでの学習を思う存分行うことができました。水慣れ・ばた足・クロールなど、学年に応じた学習を楽しみました。

特設

「ひなた」の皆様へ ミニコンサート

7月9日(火)に、特設吹奏楽部 Hinata Wins が、体育館に「ディースビスひなた」の皆様をお迎えして、ミニコンサートを行いました。「ロマネスク」「名探偵コナン」の他、「ひなた」の皆様のために特別に練習した「川の流れのように」も演奏しました。

演奏後には、「ひなた」の皆様から**手作りのプレゼント**が贈られ、吹奏楽部の子どもたちからも、思いのこもったプレゼントをお渡ししました。

最後には、みんなで道を作って、お帰りになる「ひなた」の皆様をお見送りしました。握手をしたり手を振ったりしながら、**温かな交流**を終えました。

※「ミニコンサート」の様子(動画)は、**本校 Instagram** をご覧ください。



Pick Up 七夕飾り



(保護者の方にいただいた笹の葉に願いを込めて)

地域を学ぶ 日和田のまちを知ろう

3年



6月21日(金)に、3年生が西方寺を訪問しました。ご住職から、日和田の歴史や伝説などについてお話を伺いました。子どもたちは、メモを取りながら真剣に話を聞き、たくさん質問していました。帰りには、大蛇にまつわる「あやめ姫と佐世姫伝説」を今に伝える蛇骨地蔵堂や、その裏に安置されている三十三観音などを間近に見ながら、日和田の歴史に思いを馳せていました。

4年 郷土を学ぶ体験学習

7月11日(木)4年生が高倉小学校の子どもたちと一緒に「見学学習」に出かけました。「荒井浄水場」では、ダムの水がきれいになっていく様子に、感嘆の声を上げていました。「郡山市立美術館」では、学芸員さんの説明を聞きながら、展示されている絵や彫刻などの美術品を、興味深げに鑑賞していました。「ふれあい科学館」では、展望台から日和田小学校らしき建物を発見すると、大はしゃぎでした。最後に、プラネタリウムで広大な太陽系ツアーを楽しみました。



キューピーマヨネーズ教室

のびわく

7月17日(水)、キューピー株式会社東北支店の西本様を講師にお迎えし、のびのびわくわく学園合同で「キューピーマヨネーズ教室」を行いました。マヨネーズに関する情報をたくさん教えていただいた後、「卵の黄身・酢・油」でオリジナルのマヨネーズを作りました。完成後には、学校の畑で自分たちで作ったキューピーに、手作りのマヨネーズをつけて食べました。野菜もマヨネーズも手作り！というところも貴重な体験に、子どもたちは、よく味わいながら、美味しくいただきました。



ありがとう 野口英世 博士

7月3日、20年ぶりに新紙幣が発行され、千円札に描かれていた「野口英世」博士は、その役目を終えました。細菌学的医学の頂点に立つ**世界的医学者**でありながら、その栄光の裏側の屈辱と苦悩……、**哀しき英雄**の半生を振り返ります。

猪苗代町の貧しい家庭に生まれた野口博士は、幼少時の大やけどにより**左手が使えないハンデ**を持ちながら、それをバネに猛勉強し、当時、超難問であった開業医試験に合格します。しかし、小学校しか出ていない彼に、**学歴社会**であった日本の医学界は**冷たく**、活躍の場すら与えられませんでした。そこで、彼は24歳のとき、自由の国アメリカにチャンスを求め渡米します。寝る間も惜しんで研究に没頭し、**毒蛇、梅毒、小児麻痺、狂犬病**などの難しい

研究で次々と**新発見**を繰り返して、世界の医学界を驚愕させ続けました。医学の中心地ヨーロッパを訪れた際も、**皇族の接見**を受けるなど大歓迎を受ける人気ぶりで、**まさしく英雄**でした。13年ぶりに凱旋帰国を果たしますが、歓迎パーティーや講演会などで彼を招待したのは、地方の弱小医師会や実業家ばかりで、学会レベルで彼を祝賀したのは、出身である「北里伝染病研究所」だけでした。これほどの実績を上げてもお、日本の医学界は、**学歴のない野口を、頑なに受け入れなかった**のです。屈辱を胸にアメリカに戻った後も、彼は**当時注目を集める最先端の研究ばかり**に取り組みました。**研究成果を挙げて有名になることだけが、祖国日本との唯一のつながり**だったのです。

野口博士は、1914年と1915年、2年続けて「**ノーベル賞**」の有力候補に上がっていました。が、第一次世界大戦の混乱で授賞が取りやめになるなど、不運にして日本の**ノーベル賞第1号の快挙は夢**となってしまいました。その後、南米エクアドルで**黄熱病の病原体**をわずか9日で発見すると、**この快挙を成し遂げると、その年(1920年)にも、3度目の候補に上がっています。**

しかし、月日が流れ今度は**アフリカ**で再び**黄熱病**が流行すると、そこでは「**野口ワクチン**」が**効きません**でした。彼は**危険を承知でアフリカ**に向かいます。そして、その研究の途中、自らも**黄熱病に倒れます**。黄熱病の**病原体はウイルス**であり、当時の「**光学顕微鏡**」では**いかに天才野口博士といえども発見は不可能**でした(電子顕微鏡の開発は彼の死の3年後)。エクアドルで、見えるはずのないものが見えてしまったのです。「**分からない…**」。

「**科学への献身により、人類のために生き、人類のために死せり**」と刻まれています。自分を受け入れられない日本を憎みながらも、**祖国日本を愛し続けた野口博士は、アメリカ人と結婚してもなお、生涯、アメリカの市民権を欲しませんでした。**彼の**超人的な努力**は、左手のハンデを乗り越えようとする**不屈の精神**からばかりではなく、**祖国日本を思う、せつない心**から生まれていたのかもしれない。アフリカで、**彼の最期**を看取った共同研究者**ヤング博士**は、そんな野口博士の思いを察し、**彼の遺体**に「**日の丸**」の旗をそっとかけました……。

2004年、**野口英世の肖像画**が描かれた**新千円札**が発行されました。長い時を超え、ようやく**祖国日本に帰ってきた野口博士**。あれから**20年**……、今月発行された**新紙幣**が流通していくのに伴い、優しく微笑む野口博士の**千円札**は次第に姿を消していきます。福島県が生んだ**医学界の巨人**、野口博士。長い間、ありがとうございました。どうかゆっくりお休みください。



4年授業研究会

09

8・9月の行事予定

- *8月*
- 26日(月) 2学期始業式 (B案4校時)
- ※ 給食なし 11:55 下校
- *9月*
- 1日(日) PTA 奉仕作業 (予備日9/8)
- 3日(火)~5日(木) 発育測定
- 13日(金) 見学学習 (1・3年)
- コミュニティ放射線学習(6年)
- 16日(月) 敬老の日
- 19日(木)・20日(金) 宿泊学習(5年)
- 25日(水) 交通安全教室
- 全校集会(吹奏楽部壮行会)
- クラブ活動(3年生見学)
- 26日(木) 修学旅行 (6年)

*** お弁当の日 ***
9月13日(金)・19日(木)・26日(木)

AET Thank you! ジュリア先生 See you again!

長年、本市及び本校の英語教育推進のために尽力してくださった**AETのジュリア先生**が、今学期でお辞めになることになりました。7月12日(金)が本校勤務最後の日となったため、臨時の「**全校集会**」(ジュリア先生 Thank you! の会)を開き、これまでの感謝の気持ちをお伝えしました。

ジュリア先生は、**来日して22年、本校に勤務されて11年**という長きにわたり、子どもたちに英語でのコミュニケーションの楽しさを教えてくださいました。いつも笑顔で、明るく優しいお人柄は子どもたちからも大人気で、英語ばかりでなく、**人とのコミュニケーションに大切なこと**を、たくさん教えてくださいました。

本当に長い間ありがとうございました。

またいつか、きっと会える……、

そんな気がしてなりません。

その日まで、お元気で!

Thank you for smile and tenderness.

We'll never forget you.

See you again some day,some place!

